

10. 自由記述

本アンケートの各質問に対する回答の理由、また男女共同参画に関してのご意見等がありましたらお書きください。

意見を自由に記述していただいたところ、76人から延べ91件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は項目ごとに分類し集計した。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

意見の一部を抜粋して記載するものとする。

【分類及び集計結果】

項目		件数
1	男女共同参画全般について	32
2	政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について	13
3	家庭について	6
4	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	5
5	人権について	3
6	地域活動への参画について	3
7	学校や家庭における子どもの教育について	1
8	DVについて	1
9	防災対策について	1
10	アンケートについて	20
11	その他	6
合 計（延べ件数）		91

【自由回答の記述】（一部抜粋）

（１） 男女共同参画全般について

- 男女に関係なく能力があれば活躍できる社会であることを望む。（女性 70歳以上）
- 男女がいた場合、必ず男性が先に呼ばれる。女性が年上であっても。女性を先に呼ぶようにする。
女性ファーストの考えを根付くようにする。（女性 60～69歳）
- 男尊女卑は根強く、様々な場面で男性優位な事が多い。（女性 30～39歳）
- 女性の結婚後の働き方、パートアルバイトの賃金（小売店の場合、低い）、男性優位の発言、すべてにおいて男性優位がまだまだあると思います。地方（特に市町村のすみずみまで）に目を向けるべき。（女性 40～49歳）
- 憲法では、男女平等を掲げてはいるけれど、世の中では、まだまだ意識が低いと言わざるをえません。賃金の格差、就労の格差、昔から変わっていない、所得税の配偶者控除の壁の問題等、私が20代の頃から、ずっと同じままです。50年も経っているのに。只、若い男性の意識は少しずつ変わってきていると感じる時もあります。（女性 70歳以上）

10. 自由記述

○性別に関係なく人には得手不得手があると思います。片方の性別を過剰に優遇する事なく、性別に関係なくやる気と能力がある人が各種活動に参画できるようになる事を望みます。

(男性 50～59歳)

○男女共同参画に関して予算をかけすぎだと思う。(女性 50～59歳)

○すべての人が平等になるように、男女共同参画なんて特別の言葉がなくなるように、差別のない平等な暮らしやすい世の中になればいいと思います。(女性 50～59歳)

○“男女共同参画”という、今回のアンケート項目にあることを含めて、すべてに対して、平等(男女比同じになど)にすることが目標になっているように思われます。男女の適性についても、考慮する必要があると思います。数字だけで“男女共同参画が推進できている”とは、考えてほしくないです。(女性 70歳以上)

(2) 政治・行政・職場・地域などあらゆる分野における女性活躍の推進について

○男女同等とするならば5割とまでも言いませんが、最低でも強制的にも3割以上の議員、役職などの比率を設定すべきだと思います。能力があれば女性でも起用されていると男性側は言いますが、経験者を育てる意味でも最初は比率を設定すべきだと思います。世界一家事をしない日本人男性はとても恥ずかしいことだと思います。家事をしない男性のみで物事を決定するのはおかしいことだと思います。最近のパパさんとお子さんだけで外出しているのを見ると、日本も変わって来ているのだと嬉しく思います。(女性 50～59歳)

○全体を通してですが、女性が活躍しづらかったり、人権侵害されるような制度などについては撤廃すべきと考えますが、役職につけるように推進するなどは、それはかえって男性に対する不平等になりますし、性別問わず、できる人は出世するし、やりたい人はやるし、という考えです。ですので、そこは本質を見失わないようにすべきと考えます。(男性 20～29歳)

○女性の積極的登用、活躍の推進は良い目標だと思うが結局は男女関係なくやる気がある人、能力がある人が活躍できる社会になればいいと思う。(男性 30～39歳)

○女性でも男性でも本人のやる気や能力、そして家庭の事情や経済力などの問題であって無理やり女性の政治家や役員を増やす様なやり方は健全な社会とは思わない(男性、50～59歳)

○現状の男女の社会的差異を当たり前と考える権力者・経営者の退場、減少がなければ変わっていかない。(男性 40～49歳)

(3) 家庭について

○まだまだ女性が家事全般をするものという考えが多くの人にあると思う。まず、家庭から平等という意識を持つようにすることが大切だと考えます。(女性 60～69歳)

○家庭の中は夫婦の問題で、その夫婦ごとにうまく行っていればいい話だと思います。これからは夫婦が同じように働いて、同じように家事を分担する世の中になっていくと思います。

(女性 50～59歳)

○核家族化が常態になっている社会で、男女共同参画を進めても、どうしても「家事」「育児」にマンパワーが足りない。家事代行やシッターを雇いたくても、料金が高すぎて、共働きするメリットがあまり無い。(女性 40～49歳)

（４）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

- 保育士として働いています。子育て中の男性と女性が仕事と家庭を両立するためには、その子どもを保育する人が不可欠だと日々感じています。そんな私達ですが、人手不足で８時間以上の勤務をする事が多いです。子育て家庭の支援として保育時間の延長は欠かせないと思いますが、保育士の勤務についても目を向け、支援してほしいと願うばかりです。（女性 20～29歳）
- 女性の育児時間を減らすために家族の稼ぎの柱となっている男性の労働時間を減らす事が必要。そのためには消費税、所得税等の税の減税と、社会保険料等の引き下げを行うことによる実質的な収入アップを行い男性の労働時間が減らし育児の時間に充て、女性が育児から開放される時間が増えたら、その時間を社会活動、経営、議員活動等に充てるようにする。（男性 50～59歳）
- 仕事と家庭の両立が、時間、金銭面を含め、男女を問わず行えるようになりやすい社会になればと思います。生活するのに時間、金銭的に余裕のない人が多い現状があると思います。（男性 40～49歳）

（５）人権について

- LGBTQについての言及があるが、心の問題、体の問題、意識の問題など、一律に扱えない言葉をLGBTQ一括りで扱うのはおかしい。（男性 70歳以上）

（６）地域活動への参画について

- 私自身不平等を感じることはほとんどないが、地域社会では年配の男性のみがとりしきっているのを不思議に思っている。年齢の高い人の意識をかえる必要があると思う。（女性 50～59歳）

（７）学校や家庭における子どもの教育について

- それぞれの家庭でもっと子供を大切に育てて下さい。愛情を込めて社会に送り出さなければ、これからの日本は望めません。男女共同参画はそれからでも遅くないです。一代では成功しません。親の背中を子供に見せましょう。（女性 70歳以上）

（８）DVについて

- 中高年（４５才位～６０才？）の男性は男性更年期症状の方が、多いのではないと思う。短気になり、家族・部下にどなったり（パワハラ）、暴力に及ぶ人もいる。私の父と夫も若い時は、優しくかったが、中高年にそうなった。当時はわからなかった。自覚している人は少ない。是非、男性更年期の事を周知して下さい。（女性 70歳以上）

（９）防災対策について

- 千葉県で男女共同参画を推進するならば、男女共同参画室の人員の男女比を１対１に近くするべきだと思います。男性には女性の置かれた状況をどうしても理解できない部分があるからです。災害が起こった地域での会議でも男性ばかりが並んでいる映像を見ると残念です。（女性 60～69歳）

10. 自由記述

(10) アンケートについて

- 職業が自営（個人）のため、女性参画に関しては、回答しにくかった。（男性 60～69歳）
- 高齢でありアンケートの質問がなかなか理解しづらい内容です。（女性 70歳以上）
- こちらのアンケートはそもそも世帯につき1人なののでしょうか？男女共同参画へのアンケートであれば、個々（夫婦別々）での回答が必須なのではと思いました。（女性 50～59歳）
- Q & Aがステレオ的で答えにくい。（男性 60～69歳）

(11) その他

- 話題になっている質問だけに心して答えてみました。もう少し若年でしたら、違った答えになったと思いますが、子供たちの未来に役立ってくれたらと少々大変に思いましたが、記入に至りました。（女性 70歳以上）
- 子どもを持つ人の支援で育児休暇や時間短縮者にスポットが当たっているが、結婚しない、できない低所得の三十代世代までの男女関わらずの経済的支援を行うべきだと思う。（女性 40～49歳）